

平成28年度における大学図書館の活動概要

図書館活動

1. 利用者の利便性向上に向けた取り組み

平成28年度は、ラーニングコモンズが設置されて3年目を向かえ、さらなる「利用者（相手）の立場に立った対応を心がける」（今年の図書館課のスローガン）のために、まず、①ILL（図書館相互の現物貸借・文献複写）について、複写依頼に休止期間を設けないよう通年対応化し、②Web上での申し込みフォームの改善も図った。また、③資料の予約・取り寄せについて、来館しなくても利用できるようにWeb上での申し込みを可能にした。さらに、④その開設以来、大学図書館での利用範囲が館内での閲覧のみに限定されていた相山オープンカレッジ会員も、一般女性と同様に資料の館外貸し出しも可能にし、その会員有効期限内であれば、年間登録料も無料とした。

このように今年は課のスローガンを具現化することで、利用者の利便性を向上することができた。

2. 大学改革アクションプラン2016への対応

これまで大学図書館ではライブラリー・サポーターが、サポーター目線で館内に置く本を書店で選書したり、館内の展示コーナーをPOPで飾りつけたりと活動してきたが、それと併行して、平成28年は大学改革アクションプラン2016の「学生サポーター制度を確立する」ために、その第一歩として、大学祭において「学生ボランティアによる古本販売」を大学図書館初の試みとして実施した。これまで廃棄されていた図書と雑誌をリユースする目的で学生ボランティアを募り販売した。出店のためのポスター作成から、価格の設定、本の選書、お客様の呼び込み、販売まで学生主体で活動し、一日で141冊、8,300円（図書1冊50円または100円、雑誌1冊または2冊で50円）を売り上げた。この売上げは大学図書館主催の秋の選書ツアーの本の購入費用に充てられ、学生の皆さんに還元していく。このように「本を通して先輩から後輩に受け継がれていく」取り組みを、その制度の確立のために、今後はライブラリー・サポーターの活動の一つとして取り込み、進めていく予定である。

3. 日進図書館の環境整備

環境整備の遅れている日進図書館について、平成28年は、これまで空調設備のなかった学習室へのエアコン設置や、古くなってきたAV機器の新規更新など、予算面からも容易にできる整備から実施することができた。

4. 国立情報学研究所共用リポジトリサービスへの移行と機関リポジトリの構築

これまでのリポジトリシステム(DSpace)から国立情報学研究所(NII)の共用リポジトリサービス(JAIRO Cloud)へ乗り換えるため、平成28年度は公開中の全データの移行の準備を進め、年度末に完全移行作業が完了した。年度末時点での公開している論文等の件数は、学術論文670件、紀要論文287件、学位論文4件、研究報告書17件、実践報告書4件、教育資料25件、学協会誌7件の合計1,014件である。

なお、平成28年4月から平成29年3月末日まで年間のダウンロード数は413,562件、2011年度公開当初からの累積ダウンロード数は1,651,683件となっている。

5. 館内の狭隘化対策

平成28年度は、利用に支障のあった中央図書館3階レファレンスブックの書架を見直し、教員の協力を得て、重複資料等の間引きと利用頻度の少ない資料の設置場所移管を行った。今後は、重複資料の間引きを中心に、関連規程類の整備や中央図書館内の保管庫を蔵書スペースとして利用できるよう書庫として整備を進める。

6. ライブラリー・サポーターの活動概要

中央図書館では、「フリーペーパーの作成」、「スタンプラリー」、「企画展示」、「ノベルティグッズの制作」に取り組み、日進図書館では、「フリーペーパーの作成」や「企画展示」を中心に、ライブラリー・サポーターがそれぞれに活動した。外部書店で学生が蔵書を選ぶ「選書ツアー」や、金城学院大学及び名古屋女子大学の学生ライブラリー・サポーターとの合同交流会（G3（=Girls of Three）サミット）では、両館のサポーターが参加して活動した。今後は「大学祭における古本販売」もその活動内容に加え、また、両キャンパスのサポーターの活動を一体化し、本学のライブラリー・サポーターとして統一感のある活動を進めてい

く。

7. 大学図書館業務の一部委託化に向けての準備

平成29年度からの日進図書館への専任職員配置に伴って、これまでの全面業務委託が見直しとなり、中央図書館及び日進図書館の両館で一部の業務を委託することになった。その業務委託先の選定にあたっては、コンペティションによるものとし、他大学で実績のある3社（丸善雄松堂、キャリアパワー、テンプスタッフ）をその候補とした。平成28年12月には、その3社によるプレゼンテーションを実施し、図書館長を始め図書館課専任職員全員による採点方式でキャリアパワーを選定した。

平成29年1月下旬から3月下旬にかけて、業務委託契約書の締結、キャリアパワーのトレーナーによる受託事前準備、配属スタッフの事前研修等を経て、新体制への移行に備えた。

8. 地域社会との連携の推進

(1) 一般女性及び女子高校生等への図書館開放

一般女性への図書館開放について、平成28年度の有効登録者数は67名（全登録者数209名）、延べ利用者数は延べ737名であった。次年度に向けては、入試課とも連携し、ホームページやツイッター等での広報活動を充実させ、特に近隣在住の一般女性や夏休み及び春休み期間を中心として、女子高校生等の利用者増に努める。

(2) 名古屋市図書館及び日進市図書館との連携

図書館間の地域連携については、名古屋市図書館及び日進市立図書館との連携協定に基づく相互利用を行っているが、本学図書館ホームページ等の利用方法等の記載内容を見直し、名古屋市図書館から専門図書館や大学図書館の所蔵資料も検索できる、名古屋市が構築予定の「まるはち横断検索」へ参加を検討した。

9. 図書資料の収集・整備状況

本学図書館において、平成28年度の受入を行った結果、所蔵総冊数は、図書451,820冊、雑誌2,504種となった。その詳細は、平成29年3月31日現在、下記蔵書数のとおりである。

(1) 図書（所蔵総冊数）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	286,580冊	79,743冊	366,323冊
日進図書館	68,354冊	17,143冊	85,497冊
計	354,934冊	96,886冊	451,820冊

(2) 学術雑誌（累計所蔵種数）

区分	和雑誌	洋雑誌	計
中央図書館	1,486種	678種	2,164種
日進図書館	186種	154種	340種
計	1,672種	832種	2,504種

(3) 年間図書資料受入数（製本雑誌、寄贈図書、移管受入図書を含み、廃棄資料は含まない）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	3,634冊	673冊	4,307冊
日進図書館	660冊	67冊	727冊
計	4,294冊	740冊	5,034冊

(4) 視聴覚資料（カッコ内は廃棄点数）

区分	平成28年度受入数	計
中央図書館	256 (14) 点	19,559点
日進図書館	61 (70) 点	3,340点
計	317 (84) 点	22,899点

利用者サービス状況

区分			中央図書館		日進図書館	
			平成 28 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
開館日数			281	287	284	290
入館者数			109,263	111,568	29,814	30,436
貸出冊数			48,872	46,650	11,523	12,513
26	文献複写	依頼件数	632	938	149	199
		受付件数	1,104	1,201	268	247
	閲覧	依頼件数	2	2	2	4
		受付件数	36	70	11	12
	相互貸借	借用	45	22	17	21
		貸出	26	16	2	3